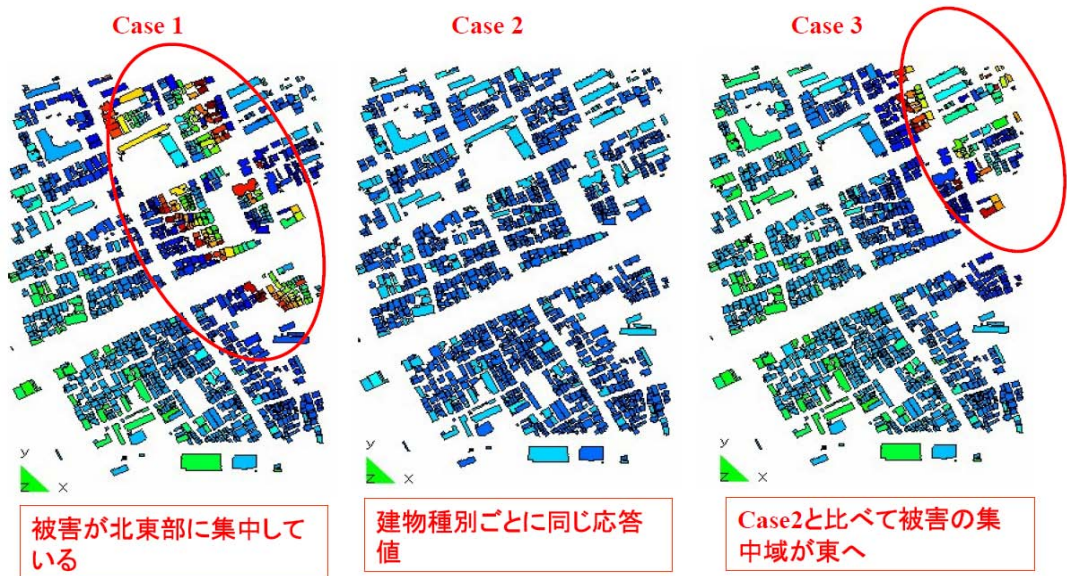


図 1 1 : <建物の最大層間変位角分布>



またデジタルデータを持っていることから、その都市にどの程度の被害額が生じるかの推計にも役立つ可能性がある。

図 1 2 : <被災状況の試算>

各構造物の被災度を3段階に分けて評価  
 損傷なし=0      小破=0.5      大破=1.0

	建物数	被災度		
		Case 1	Case 2	Case 3
木造	1090	525.0 (0.482)	545.0 (0.500)	500.0 (0.459)
無壁舎	124	17.5 (0.141)	62.0 (0.500)	105.5 (0.851)
RC	28	13.0 (0.464)	28.0 (1.000)	19.5 (0.696)
SRC	19	9.5 (0.500)	19.0 (1.000)	19.0 (1.000)
合計	1261	565.0 (0.448)	654.0 (0.519)	644.0 (0.511)

※ 被災度  
 上:合計  
 下:平均

図 7 の場合は 600m × 700m で建物数も 1,000 棟程度の狭い範囲でのシミュレーション